資料4

APIR

個性を力へ。甲南大学 KONAN UNIVERSITY

統計データ利活用に関する有識者会議メモ

2016年5月27日
@和歌山県民文化会館6F特別会議室

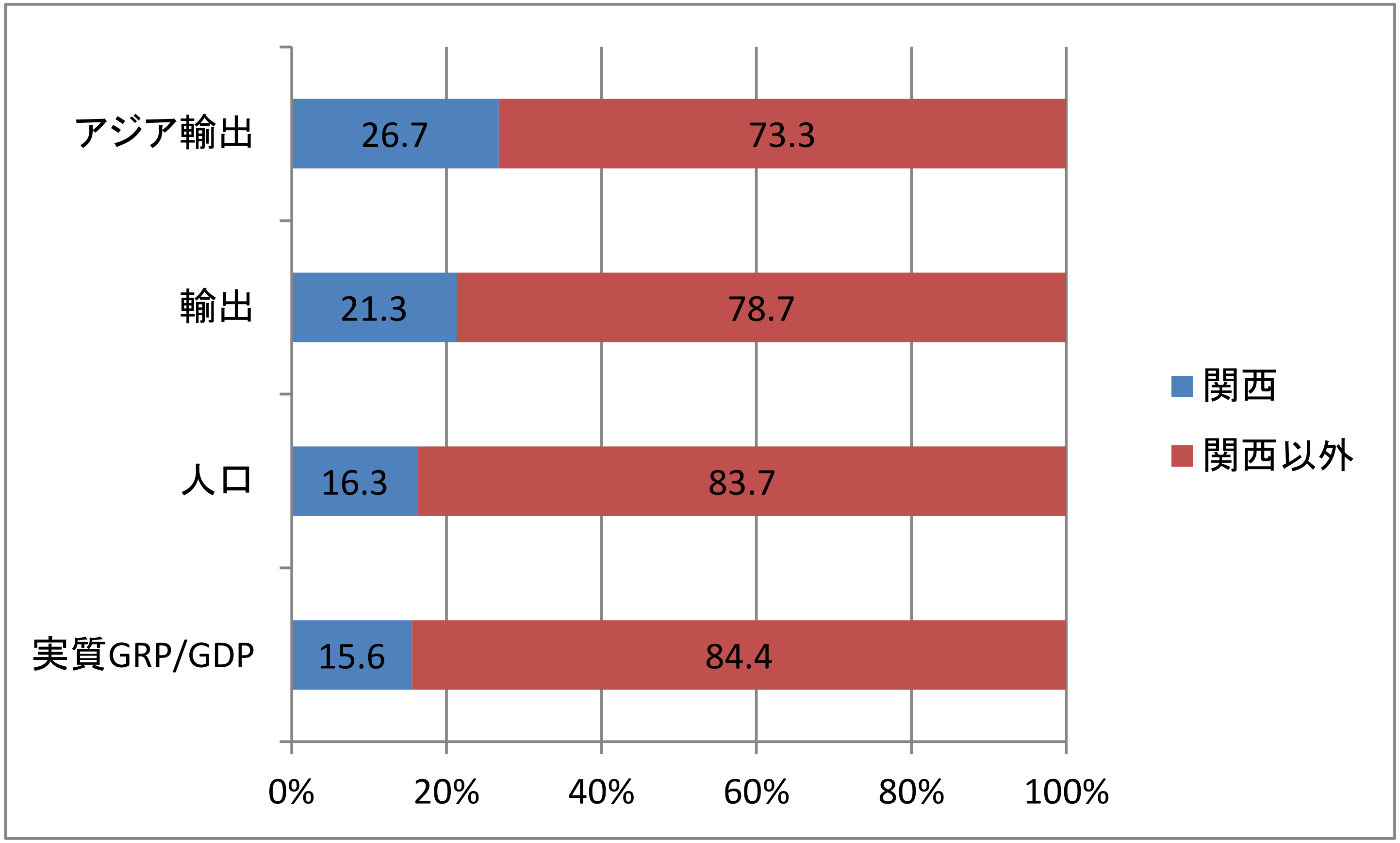
稲田義久
甲南大学副学長
アジア太平洋研究所数量経済分析センター長
inada@konan-u.ac.jp

議題

- データ利活用を通じた近畿圏の発展の在り方
- 近畿圏におけるデータサイエンスの発展と課題

関西経済の現在：
16%エコノミー

関西のプロフィール



出所：出所：実質GRPは内閣府『県民経済計算』平成24年版から計算。貿易データは財務省『貿易概況』2015年。人口は総務省『国勢調査』2015年から計算。

各府県は何で稼いでいるか

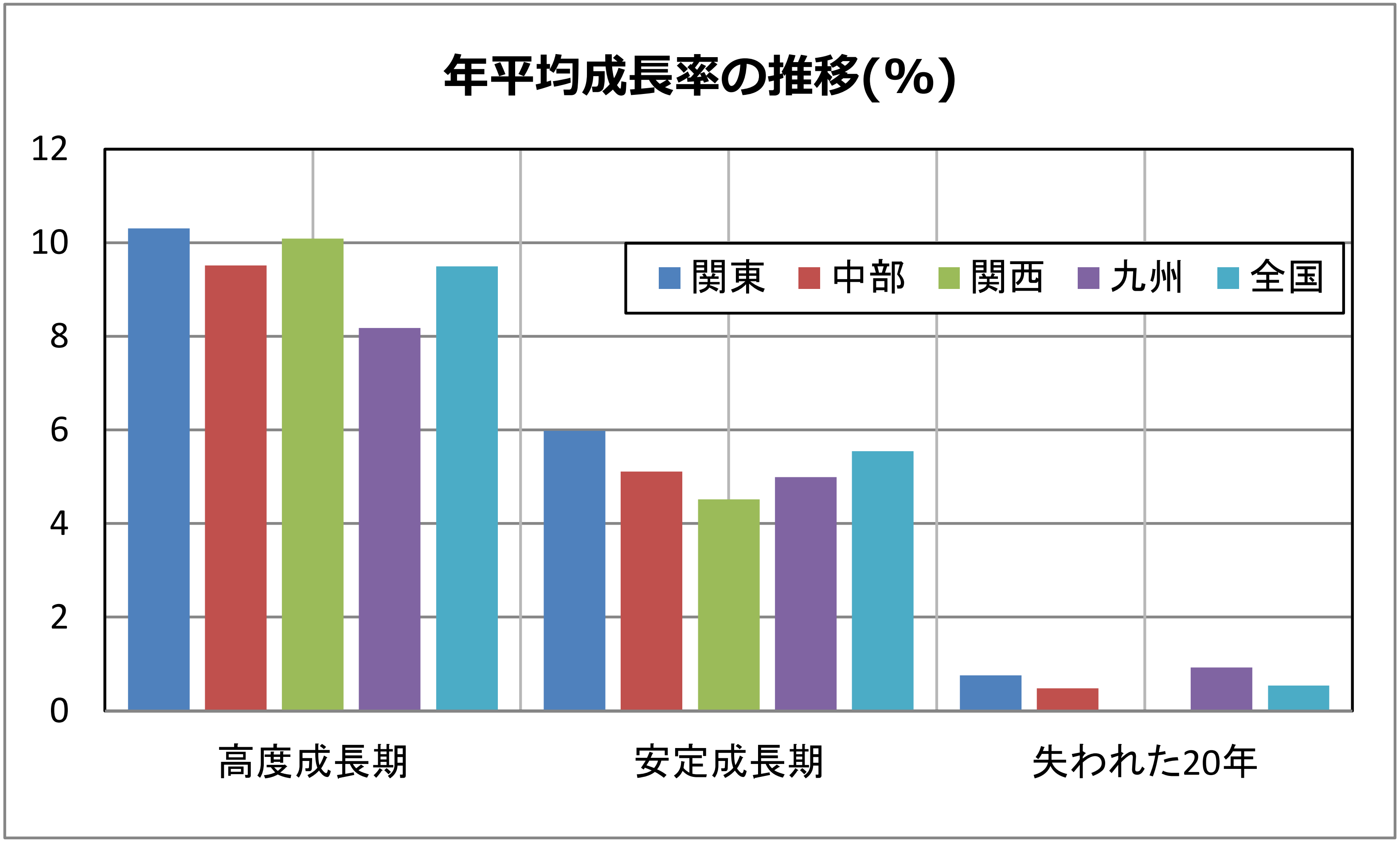
	第１次産業	第２次産業	第３次産業
滋賀県	0.7	45.2	54.1
京都府	0.4	27.4	72.2
大阪府	0.2	19.5	80.4
兵庫県	0.6	28.6	70.8
奈良県	0.7	21.6	77.8
和歌山県	2.0	33.5	64.5
全県計	1.1	25.7	73.2
関西計	0.4	25.4	74.2

出所：内閣府『県民経済計算』2012年版から計算

関西経済の過去：長期停滞から抜けられないわけ

『関西経済白書2014』年から

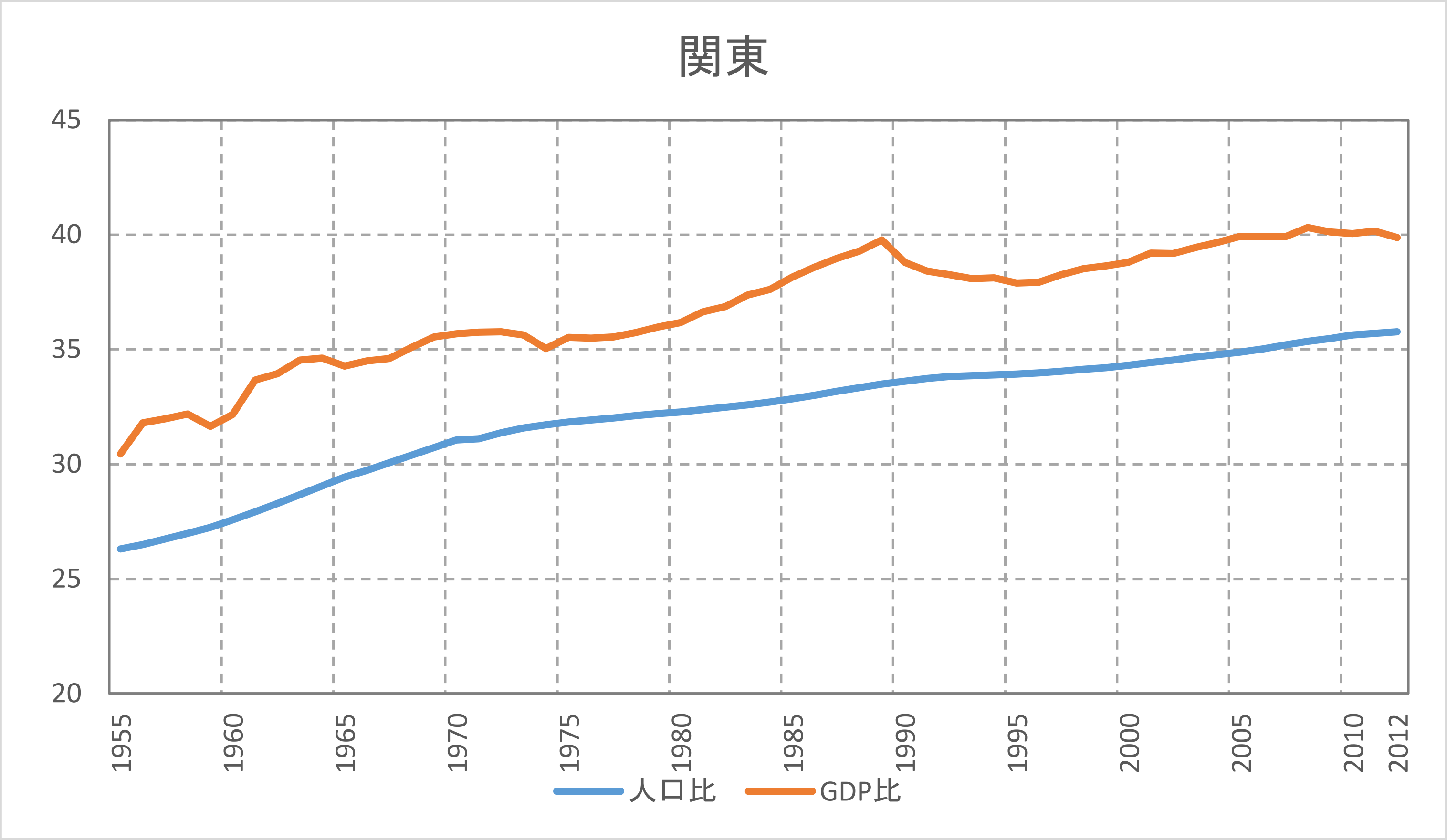
成長率の推移



出所：内閣府『県民経済計算』を接続して計算

ヒトもカネも東京に集中

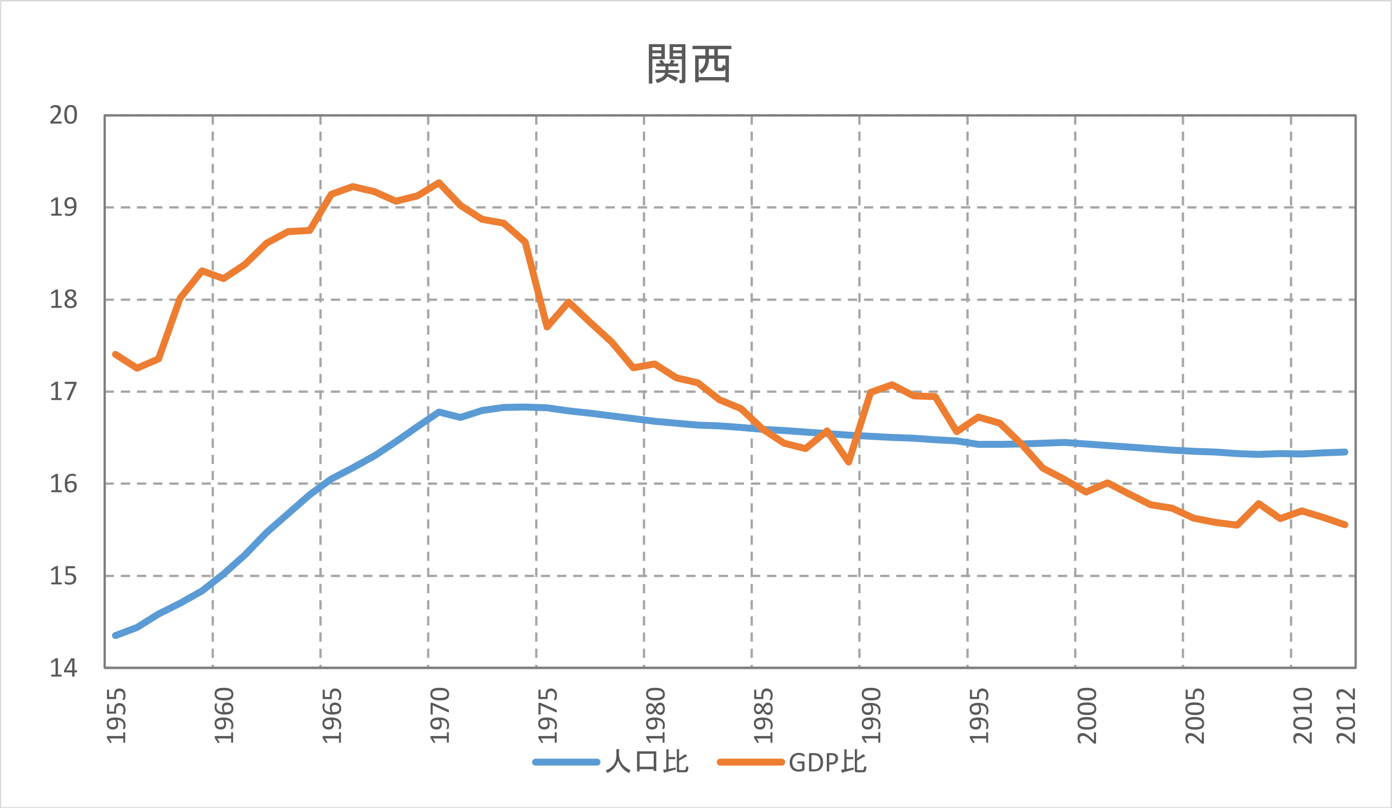
サービス業が集中



出所：総務省『国勢調査』及び『人口統計』及び内閣府県民経済計算から計算

関西の長期低迷は万博のころから

低生産性産業が集中



出所：総務省『国勢調査』及び『人口統計』及び内閣府県民経済計算から計算